

平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小林
		全体計画						経費区分		-		内線	3139
事務事業名	4042 広聴広報事業												
所 属	050200 総務部・政策推進課												
施 策	07024000 情報発信、広聴・広報の充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	020109 総務費・総務管理費・企画費											
	事業	030000 広聴広報事業											
事業目的						事業概要・効果							
市の情報をわかりやすく広報し、市民に伝えるとともに、須坂に関する意見や情報を集める。						広報須坂やホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックを併用した情報発信に努め、市民への更なる情報提供を行い、信頼関係やコミュニケーションに繋げていく。また、マスコミ関係者との信頼関係を深め、プレスリリースを一層進め、市内外に須坂の事業などを紹介する。 また地域づくり市民会議を開催し、地域の思いや意見を聴取する。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
「広報すざか」などさまざまな市の広報媒体を活用するとともに、「いけいけすざか」との連携も強化し、情報発信を行った。 「地域づくり市民会議」などを行い、市民のさまざまな声を聞いた。	誰もが見やすいホームページにする。広報すざかやホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックの活用。「いけいけすざか」との連携強化。報道機関を通じた積極的な情報発信。Sコレ調査を行い、須坂に関するさまざまな声を聞き情報発信にも生かす。
平成29年度 実績	平成30年度 予定
広報すざかやホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックを活用して情報発信する。また、「いけいけすざか」との連携を強化し、報道機関を介して積極的な情報発信する。	広報須坂やホームページ、SNS、FMぜんこうじ、メールマガジンなど広報に有効な媒体を活用した情報発信を進める。また動画の効果を最大限発揮した広報に努める。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
広報須坂やホームページ、SNS、FMぜんこうじ、メールマガジンなど広報に有効な媒体を活用した情報発信を進める。また動画の効果を最大限発揮した広報に努める。	広報須坂やホームページ、SNS、FMぜんこうじ、メールマガジンなど広報に有効な媒体を活用した情報発信を進める。また動画の効果を最大限発揮した広報に努める。

指標名	「地域づくり市民会議」出席者数				
算式					単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	40	41	42	43
	実績	40	39		
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名	ホームページ閲覧件数				
算式	トップページを開いた回数				単位 件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	510,000	796,000	797,000	798,000
	実績	795,728	446,582		
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		20,511	20,756
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,150	1,038
一般財源		19,361	19,718
人員数(人)	正規職員	2.5	2.5
	嘱託職員	1.3	1.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	17,872.5	17,872.5
	嘱託職員	3,595.8	3,595.8
	臨時職員	0.0	0.0
	計	21,468.3	21,468.3
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		41,979.3	42,224.3

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	30	市報モニター謝礼30
11節 需用費	9,149	広報須坂印刷8,302、季刊イベントチラシ印刷482、消耗品費282、その他83
13節 委託費	7,709	FMぜんこうじCM放送委託2,463、ホームページ保守3,342、その他1,904
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	84	長野県世論調査協会負担金60、広報協会負担金24
その他	3,539	広告料444、郵便料294、市報編集用機器賃借料183、その他2,618

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	36	市報モニター謝礼36
11節 需用費	9,065	広報須坂印刷8,266、季刊イベントチラシ印刷384、消耗品費415
13節 委託費	7,678	FMぜんこうじCM放送委託2,463、ホームページ保守3,022、メール配信システム移行908・その他1,285
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	84	長野県世論調査協会負担金60、広報協会負担金24
その他	3,893	広告料450、郵便料450、市報編集用機器賃借料136、その他2,857

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民が必要とされる情報を素早く入手できる環境をつくるには、幅広い情報をあらゆる媒体を活用し発信することが大切である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	市民が求めている情報を的確に把握し、市のあらゆる媒体で情報発信する。市民に正確に情報が伝わること、行政と市民が共創でまちづくりを進めるために情報発信を通じてコミュニケーションづくりに努めていきたい。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	広報紙に有料広告を掲載し財源確保に努めている。引き続き、広報須坂の編集効率をいかに向上させるかを課題に進める。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市の情報を様々な媒体を活用して幅広く発信することで、市民があらゆる場所で、あらゆる手段で素早く情報を入手する選択肢を広げるとともに、市民の声を聴き、効率的で効果のある広報に努める必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>広報すぎかやホームページ、ツイッターやフェイスブックなど様々な媒体を活用して情報発信を行った。また、「地域づくり市民会議」を開催するなど市民のさまざまな声を聞くことに努めた。</p>		<p>さまざまな方法により情報発信するために、各課からの情報提供を確立させ、アンテナを高くタイムリーに発信していく必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	